

「委員会評価報告書」に対する検討結果等報告書

事業名	関係人口創出事業
担当課・室・係名	まちづくり推進課地域振興係
【処理方針や対応状況、並びに予算への反映状況等】 <p>市では、地域外からの新たな人の流れをつくり、「ひと」の好循環を確立し、まちづくりを担う人材の確保・育成を行うことを目標に、コロナ禍で働き方も変化する中、二拠点居住という新しいライフスタイルを可能にするため、テレワークや交流が行える多機能型スペースとなる関係人口交流拠点施設 c o c o m i o を令和3年度に整備し、令和4年度から運用を開始いたしました。</p> <p>この事業では、都市住民などからの多様な人材と地域内人材との融合による地域資源の発掘や、新たなビジネスを生み出していくローカルベンチャーの立ち上げを支援することで、関係人口の創出・拡大を図り、将来のU I J ターンにつなげていくことを目指し、指定管理者と連携を図りながら取り組んでいるところです。</p> <p>委員会の評価をいただいた時点では、取組が進んでいなかった事業も多くありました。</p> <p>10月には、犬飼町のながたに振興協議会と、大分県が包括連携協定を締結している富士通株式会社によるワーケーションや意見交換会を開催いたしました。このほか、c o c o m i o を会場として、すでに移住されている方と、これから市内へ移住を考えている方を対象とした移住者交流会の開催や、ふるさと納税返礼品提供事業者間の交流拡大を目的とした体験会「ふるマル」の開催、指定管理者が取組む地元の中学校や三重総合高校への学習支援や県内大学との連携、移住ドラフト会議、トークイベントなどを通じ、多様な市内外の地域人材との地域活性化の取組を進めているところです。</p> <p>新たなビジネスを生み出す創業支援については、創業関連のイベント開催や、「c o c o m i o ローカルビジネススクール」と銘打った創業支援セミナーと、毎回セミナーの振り返りを目的としたフォローアップ研修を開催いたしました。このセミナーには募集定員20名に対し、27名が参加するなど、盛況のうち終了しています。12月末にはローカルビジネススクールが終了したことに伴い、市内金融機関や日本政策金融公庫、市商工会などが集まる関係機関連絡協議会を開催し、今後の創業支援体制について連携を図るための意見交換を行ったところです。</p> <p>こうした取組の結果、12月末現在、施設利用者は、目標の1,300人を超える約2,600人。新規事業創出事業所数は成果目標の5件を達成するなど、年度途中ではありますが、全ての成果指標を達成したところです。</p> <p>しかしながら、今回ご指摘をいただいた、「ボラホリぶんごおおの」や施設に対する市民への周知や理解が進んでいないことについては反省すべきところです。これまでは、市やc o c o m i o が行うホームページでの情報発信が中心でしたが、市報や回覧などを通じた市民への情報発信についても、今後行ってまいりたいと考えています。</p>	

また、ご指摘いただいた、関係人口交流拠点施設の活用方法についても、さらに工夫し、住民との理解を深めながら、関係人口の創出拡大はもとより、将来的に移住・定住につながる取組の検討も進めてまいります。